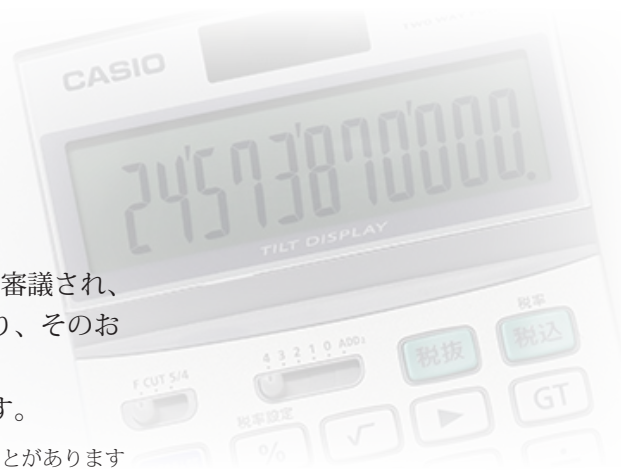


お金の計画



令和 8 年度当初予算が、3 月に行われた第一回定例町議会で審議され、成立しました。当初予算は、一年間の町の総収支額を見積もり、そのお金をどのように生かすのか示したものです。

今月号の特集では、今年度のお金の計画について説明します。

※金額は四捨五入・切り捨て・切り上げをしているため、合計と一致しないことがあります

会 計 名	令 和 8 年 度 当 初 予 算 額	令 和 7 年 度 当 初 予 算 額	前 年 度 か ら の 増 減 額
一 般 会 計	181 億 9,800 万円	145 億 3,900 万円	36 億 5,900 万円
特 別 会 計	8 億 6,426 万円	8 億 534 万円	5,892 万円
国民健康保険	5 億 7,928 万円	5 億 7,824 万円	104 万円
後期高齢者医療	2 億 7,232 万円	2 億 875 万円	6,357 万円
介護保険サービス	705 万円	705 万円	-
地方卸売市場	561 万円	1,130 万円	▲ 569 万円
上 水 道 事 業 会 計	38 億 72 万円	22 億 9,497 万円	15 億 575 万円
下 水 道 事 業 会 計	17 億 1,089 万円	15 億 2,633 万円	1 億 8,456 万円
全 会 計	245 億 7,387 万円	191 億 6,564 万円	54 億 823 万円

令和 8 年度当初予算は 245 億 7,387 万円に

倶知安町の会計は、一般会計・特別会計・上水道事業会計・下水道事業会計に区分して経理されています。

倶知安町における令和 8 年度予算総額は、各会計を合わせた 245 億 7,387 万円で、前年度比 28.2% (54 億 823 万円) の増となりました。

そのうち一般会計は、181 億 9,800 万円で、前年度比 25.2% (36 億 5,900 万円) の増、特別会計は、8 億 6,426 万円で前年度比 7.3% (5,892 万円) の増となっています。

また、上水道事業会計は、38 億 72 万円で、前年度比 6.6% (15 億 575 万円) の増、下水道事業会計は、17 億 1,089 万円で前年度比 12.1% (1 億 8,456 万円) の増となりました。

? 一般会計

税金を中心とした収入で、福祉や教育、道路など幅広い範囲の事業を行う会計

? 上水道事業会計

独立採算による事業を経理する会計。
主に水道水の供給や水源、水道管の整備や維持管理を行う

? 下水道事業会計

特定の収入で特定の事業を行う会計。
主に下水道管や下水処理施設の整備や維持管理を行う

? 財政に関する用語解説

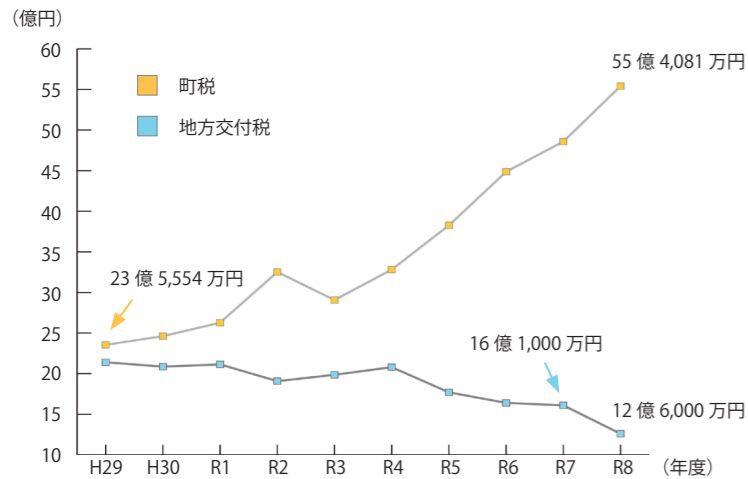
? 特別会計

特定の収入で特定の事業を行う会計。倶知安町の場合、次の 4 つを特別会計として設けている。

- ①国民健康保険事業
主に国民健康保険加入者の医療費を給付する
- ②後期高齢者医療事業
主に 75 歳以上の方の医療費を給付する
- ③介護保険サービス事業
主に地域包括支援などの介護事業の運営管理の費用を支出する
- ④地方卸売市場事業
主に町地方卸売市場施設の維持管理を行う

堅調な伸びを見せる固定資産税の増額などにより町税が増額

町税・地方交付税の推移（平成 29 年度～令和 8 年度当初予算額）



町税は、前年度比 14.0%（6 億 8,182 万円）の増となりました。これは、固定資産税で 2 億 9,900 万円、町民税で 1 億 7,300 万円の増額を見込むためです。また、地方交付税については前年度比 21.7%（3 億 5,000 万円）の減額を見込んでいます。

今年度当初予算では、固定資産税や町民税の予算増額に伴い、基準財政収入額が増加したため、基準財政需要額との差額が少なくなったことから、普通交付税額が減少しました。

町税

国・都道府県・市町村に納める税金のうち、町に納める税金のこと。町民税や固定資産税、軽自動車税、入湯税、町たばこ税などがそれにあたる。

地方交付税

地方公共団体の財源の不均衡を調整し、一定の行政サービスが提供できるよう財源を保障する目的で国から交付される。地方交付税には、基準財政需要額（町が適正水準の行政活動を行うために必要な額）と基準財政収入額（町の標準的な税収入より算定した額）との差額に対して交付される普通交付税と、それ以外の特殊な財政需要に対して交付される特別交付税の 2 種類がある。

宿泊税さらに増額の見込み インフラ整備や観光振興施策に

町では、法定外目的税の「宿泊税」を導入しており、観光振興を図る事業の財源として活用しています。

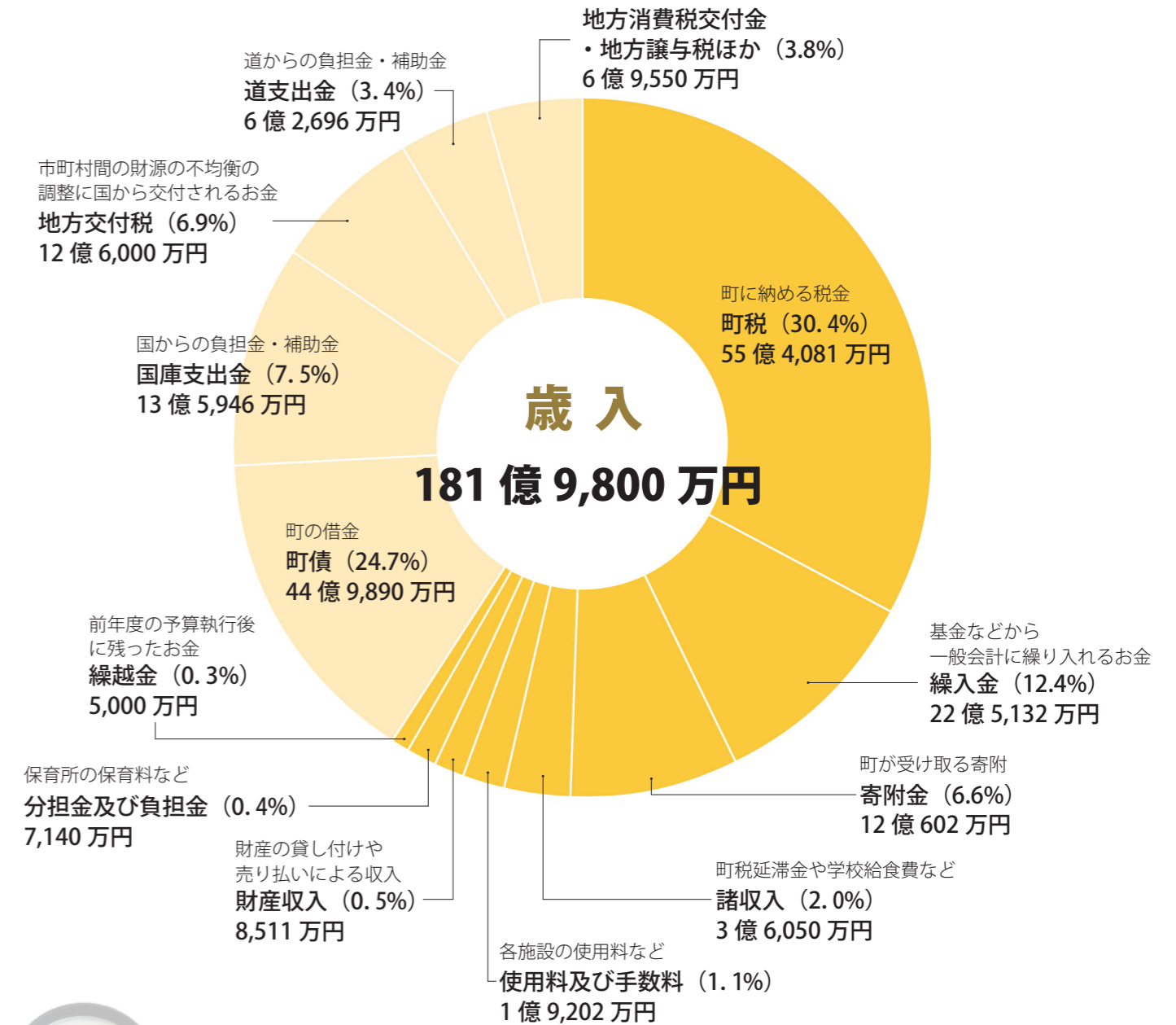
今年度は 7 億 5,000 万円で前年度比 33.9%（1 億 9,000 万円）の増額を見込んでおり、「観光インフラの整備」、「持続可能な観光地づくり」、「新幹線を意識したまちづくり」、「安心・安全なリゾート形成」、「ニセコ・羊蹄山の環境保全」、「宿泊税の啓発徴収に係る経費」の、大きく分けて 6 つの施策のために活用されます。

右表では、今年度の宿泊税を財源とした事業の一例を紹介します。

宿泊税 主な活用事業

事業名	事業費	うち充当額
◆観光インフラの整備		
地域 DMO 支援事業 (DMO：倶知安観光協会)	3 億 3,815 万円	3 億 2,645 万円
ひらふ地区ロードヒーティング事業	3,069 万円	1,962 万円
◆持続可能な観光地づくり		
町民向けタクシー確保事業	540 万円	524 万円
◆新幹線を意識したまちづくり		
駅前通り歩道ロードヒーティング整備事業	3,251 万円	166 万円
◆安心・安全なリゾート形成		
ニセコひらふ安全センター事業 (臨時交番の運営)	940 万円	911 万円
◆ニセコ・羊蹄山の環境保全		
羊蹄山管理保全事業	193 万円	187 万円
◆宿泊税の啓発徴収に係る経費	2,414 万円	2,414 万円

自主財源 = 町が自主的に徴収する財源
依存財源 = 国や道から交付される財源
※ () 内の数字は構成比



前年度と比較し、大幅に増減した項目とその主な要因を説明します。

増加

町 債 (前年度比 + 23 億 1,990 万円)
プール絵本館複合拠点施設や山田地区上水道の整備などを行うため増額

増加

町 税 (前年度比 + 6 億 8,182 万円)
固定資産税や入湯税、宿泊税が堅調に伸びていることから増額

令和8年度 **主な事業**

駅前ロードヒーティング整備事業 (3,251万円)
駅前通り歩道における冬期間の歩行空間を確保するため、ロードヒーティング整備を行う。

準都市計画等の拡大検討事業 (1,596万円)
羊蹄山麓の環境保全を軸として、町内全域を対象に、準都市計画区域の拡大や適切な土地利用の誘導に向けた調査・検討を行う。

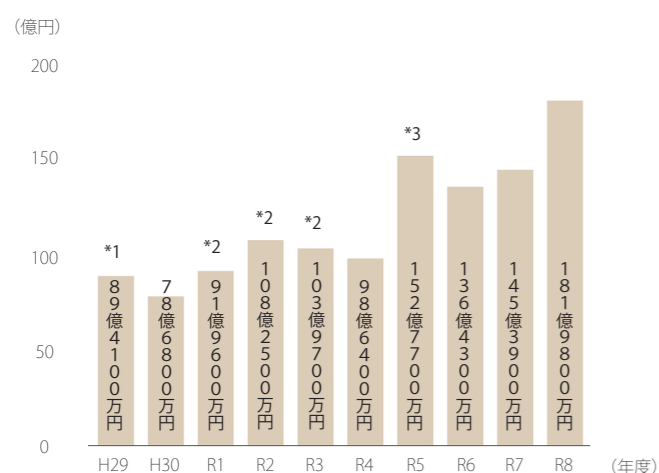
ヒグマ対策事業 (221万円)
人の日常生活圏にヒグマが出没した場合に地域住民の安全確保ができるよう体制整備を行う。

不法投棄禁止ポスター募集事業 (64万円)
子ども議会にて、ポイ捨て(不法投棄)禁止ポスターの募集について提案をいただいたことから、作品募集を行い、啓発ポスターとして活用する。

コンビニ証明書交付システム導入事業 (1,123万円)
マイナンバーカードを活用し、コンビニエンスストアで住民票などの各種証明書を取得できる「コンビニ交付サービス」の運用開始に向け、システムを導入する。

施設やインフラの整備により 予算額は過去最高となる 181 億円超

一般会計予算の推移 (平成29年度～令和8年度)



前年度から引き続き、南6条団地建替事業、プール絵本館複合拠点施設整備事業などを実施するため、建設事業費の比率が大きくなっています。

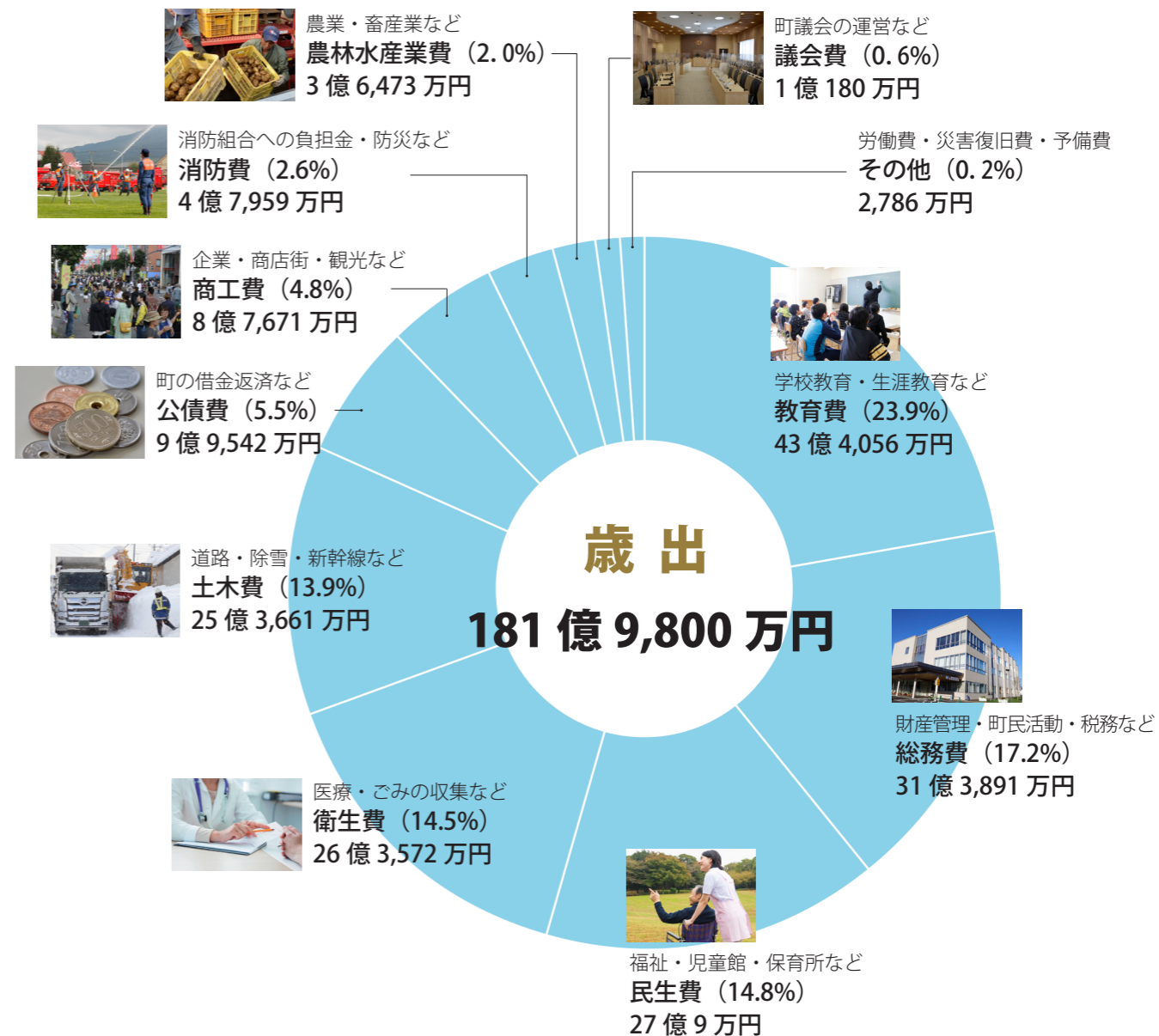
また、上に記載する主な事業のほか、町道の道路改良工事、山田地区の上水道整備、文化福祉センターのエレベーター設置工事などを行うことから、町債を借り入れ、一般会計予算額は、前年度比25.2% (36億5,900万円)の増となり、令和5年度の152億7,700万円を超えて過去最高となりました。

*1 くっちゃん保育所ぬくぬくの建設
*2 役場庁舎の建設
*3 ニセコひらふ地区の町有地売却に伴う基金積み立て

5月1日 発行
令和8年度 予算説明書
アクティブくっちゃん
圏総合政策課広報聴係
☎ 56 - 8001

5月1日発行(広報折り込み) 予定の予算説明書「アクティブくっちゃん」では、これらの事業をより詳しく紹介するほか、それ以外の事業についても紹介します。

※ () 内の数字は構成比



比 べる 歳 出

前年度と比較し、大幅に増減した項目とその主な要因を説明します。

増加 **教育費** (前年度比 + 21億2,776万円)
プール絵本館複合拠点施設建設工事や中学校の照明器具LED化などを行うため増額

増加 **衛生費** (前年度比 + 7億9,116万円)
山田地区上水道整備事業として、ニセコひらふ地区の水需要の増加に対応するための整備などを行うため増額